

## 令和元年度第1回別府市総合教育会議議事録

1 日 時 令和元年8月20日(水)  
開会 午後5時 閉会 午後5時45分

2 場 所 別府市役所 1階レセプションホール

### 3 出席者

(構成員) 別府市長	長野 恭紘
教育委員会	
教育長	寺岡 悌二
教育委員	福島 知克 (教育長職務代理者)
教育委員	小野 和枝
教育委員	山本 隆正
教育委員	川崎 栄一

(事務局) 総務部長	檜山 隆士
総務課長	牧 宏爾
総務課参事	本田 壽徳
総務課主査	高木 佳子
教育参事	稲尾 隆
教育次長兼教育政策課長	末田 信也
学校教育課長	北村 俊雄
社会教育課長	三宅 達也
スポーツ健康課長	花木 敏寿
教育政策課参事	藤田 一樹
学校教育課参事	志賀貴代美
学校教育課参事兼総合教育センター所長	利光 聡典
人権同和教育啓発課参事	塩地美千代
社会教育課参事	森本 悦子
教育政策課課長補佐	加藤ひろみ
教育政策課課長補佐	縄田 早苗
スポーツ健康課課長補佐	豊田 明子
スポーツ健康課指導主事	宇野 淳

### 4 議 題

- (1) 子どもの安全対策について
- (2) 学校給食施設の整備運営について
- (3) その他

## 議 事 録

発言者	発言の内容
総務課参事	<p>定刻になりましたので、これより令和元年度第1回別府市総合教育会議を開会させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>最初に、長野市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>皆さんこんにちは。令和元年度の第1回総合教育会議に皆さま方大変お忙しい中にもかかわらずご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。冒頭一言ご挨拶を申し上げたいと思います。</p> <p>皆さまご承知のように、先月、石垣地区の金融機関におきまして、銀行強盗事件が発生いたしました。幸いにも容疑者犯人は、夜には確保、逮捕ということになりました。犯行が昼間、学校から自宅に帰る下校時ということもありましたので、非常に心配いたしましたけれども、各学校の皆さま方をはじめ、関係機関の皆さま方の迅速な対応をいただきまして、安全の確保が図られました。日ごろからの連携の大切さというものも実感いたしましたし、また、日ごろからの皆さんの活発な活動のお陰でこういったしっかりとした連携がとれているんだなあと改めて実感いたしました。改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>本日は、その子どもたちの安全確保についての議題がまず一点と、もう一つは、懸案となっておりました学校給食施設の整備運営についても協議をいただき、ご意見をいただくという予定になっております。子どもたちが過ごす環境の整備、食の安全に対しましては、教育委員会をはじめ、学校現場はもちろんですが、私たちがしっかり責任をもって将来につなげていくということが何より大事だと思います。どうか忌憚のない、活発なご意見をいただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
総務課参事	<p>これより議事に入ります。レジュメの後ろ3ページにございます別府市総合教育会議運営要綱をご覧ください。運営要綱第3条に、「市長は、議長として会議の議事進行を行うものとする。」と規定されています。以降は、市長に議長として議事を進めていただきます。市長よろしくお願いいたします。</p>

発言者	発言の内容
市長	<p>はい。それでは、私のほうで議事を進めさせていただきたいと思います。</p> <p>別府市総合教育会議運営要綱第6条第2項の規定によりまして、今回の議事録署名は、寺岡教育長にお願いをしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、第1回の議題についてご説明をいただきたいと思います。</p>
総務課長	<p>はい。それでは、まず、はじめに配布しております資料の確認をさせていただきたいと思います。</p> <p>上から「令和元年度第1回別府市総合教育会議」と書かれたレジュメですね。続いて、資料1として「子どもの安全対策について」、資料2としまして「学校給食施設の整備運営について」、そして「別府市教育大綱」の4部となっております。</p> <p>続きまして、本日の議題についてご説明いたします。本日の議題は、別府市教育大綱の取組の方向性の中から2点を取り上げて協議をしていただきたいと思いますと考えております。お手元の別府市教育大綱の5ページをお開きください。基本方針2安心して子育てができる教育環境の整備では、6ページのほうになりますが、基本方向4において教育環境の整備を掲げています。ここでは、登下校時の子どもの安全を確保すること、それと、園児児童生徒に健康で快適な学習環境を提供するため、学校施設の長寿命化・快適化を推進するなどして教育環境の向上を図ることを記載しております。そこで今回はレジュメの主題にありますように、「子どもの安全対策について」と、「学校給食施設の整備運営について」の2点についてご協議をお願いいたします。以上でございます。</p>
市長	<p>はい。本日の主な議題は2点でございます。委員の皆様方の活発な意見をお願い申し上げたいと思います。それでは、議題の1「子どもの安全対策について」事務局より説明をお願いしたいと思います。</p>
スポーツ健康課長	<p>はい、それでは、議題1号の「子どもの安全対策について」説明をさせていただきます。先程、市長からもございましたように、7月9日に石垣西で発生した強盗未遂事件のほか、今年5月大津市交差点における保育園児の死傷事故、昨年6月の大阪北部地震の登校中児童のブロック塀事故など、事件や事故、自然災害に</p>

発言者	発言の内容
センター所長	<p>おける子どもの安全対策が求められる事案が発生しており、学校・家庭・地域、それから、各関係機関が連携した危機管理体制の充実が必要となってきました。それでは、スポーツ関係課の主な取組を説明いたします。</p> <p>まず、1ページの各学校の安全管理体制でございます。(1)にありますように、学校保健安全法により、平成21年度より義務付けられたことに伴い、危機管理マニュアルを各学校において作成をいたしております。次に(5)ですが、避難訓練に際し、津波想定校3校、火砕流想定校1校におきまして、保護者に対し引渡し訓練もあわせて実施いたしております。また(7)は、大阪北部地震の登校中児童のブロック塀事故を受け、倒壊の危険性のあるブロック塀を撤去し、フェンス等の設置を平成30年度8校、1,392万9千円施工し、本年度18校、1億5,020万8千円を施工予定としております。</p> <p>続きまして、2ページをお願いします。交通安全予防対策でございますが、(1)の移動交通安全教室「とんととまれ」を市内全幼稚園新入園児と保護者、全小学校新入学児童を対象に、関係機関と連携し実施をしております。また(2)の自転車交通安全教室実技講習を市内全小学校3年生児童を対象に、関係機関と連携し実施しているところでございます。</p> <p>次に(3)ですが、登下校交通安全指導や、見守り安全活動を行っていただくため、地域スクールガードボランティアの登録をお願いします。なお、平成30年度末で199人の方にご登録いただいております。</p> <p>続きまして、3ページの通学路の安全点検でございます。(1)にありますように、平成26年度より、別府市通学路交通安全プログラムにおける「別府市通学路安全推進会議」を実施しております。年間2回の会議の中で、学校長から申請のあった箇所につきまして、全市内の中で緊急性の高いもの、危険度の高いもの、事故が発生した現場等を考慮し、園児児童生徒が安全に通学できるよう、対策を講じております。以上で説明を終わらせていただきます。</p> <p>続きまして、総合教育センターの取組についてご説明いたします。補導活動といたしまして、別府市補導員協議会122名により、毎月の街頭ごと、地区ごと、夏冬の愛のパトロールに取り組んでいるところでございます。不審者情報の多い下校時を中心に補導活動を行うとともに、子どもたちへの声かけ活動に積極的に取</p>

発言者	発言の内容
<p>市 長</p> <p>教 育 長</p>	<p>組んでおります。不審者・変質者対応についてご説明をいたします。シート7ページになります。各学校が児童生徒・保護者から受理した情報は総合教育センターに寄せられます。警察への通報、被害園児、児童生徒のケア、その他の子どもたちへの指導、保護者への連絡、近隣の学校等への情報提供と発生場所での見守り・見回りについて確認を行っているところでございます。</p> <p>続きまして、シートの8ページ目になります。警察との連携についてご説明をいたします。学校警察連絡制度に基づき、主に中学校と別府警察署の連携を図る学校・警察連絡協議会を開催しています。</p> <p>シートの9ページになります。小学校と交番の連携に関しましては、小学校・交番セーフティーネットワーク会議を開催しているところでございます。ともに情報の共有と対応の協議等を行っているところでございます。</p> <p>最後にシートの10ページになります。7月9日に発生いたしました、石垣西強盗未遂事件の対応についてご説明いたします。県警、別府署、県教委より受理いたしました情報を教育委員会にて共有いたしました。学校教育課より市内公立幼稚園・小中学校に事案発生的事实と、校内及び学校周辺の警備、合わせて不審者を発見した場合の通報について指示をいたしました。その際、協議の上、下校時の対応として、保護者への直接の引き渡しを指示したところでございます。その後、事案解決の報告を県警及び別府署より受理しましたので、翌日の登校は通常通りとの指示を送っているところでございます。今後、同様の事案が発生した場合、シートの11ページをご覧ください。情報伝達が確実に行われますよう、公立私立にかかわらず、教育委員会より市内幼稚園、小中学校、高校、支援学校へ情報提供を行いたいと考えております。学校から保護者への迅速な連絡に関しましては、東山幼稚園小中学校以外の公立幼稚園、小中学校は、一斉メール配信システムを導入済み、導入準備中、または検討しているところでございます。以上でございます。</p> <p>はい。質疑、意見がありましたら、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。はい。教育長どうぞ。</p> <p>今回、緊急対応の件でございます。これまでは、台風、また地震等に対する緊急対応を中心として行ってきたのですが、今回のような強盗未遂事件のような内容については初めてでございま</p>

発言者	発言の内容
市長	<p>す。いくつか問題がございます。教育委員会としましては、保護者に直接お子さんを渡すという対応をとりましたので、保護者への周知方法、メールによる一斉周知の学校と電話による直接・個別周知の学校、など、周知方法の問題、また、集まる時の駐車場の確保の問題、そして、もし犯人が次の日も検挙されなかった場合の翌日の休校対応など、そういうことが校長先生達に連絡をする時に問題になりました。最終的には、逮捕ということになりました、市長協議を経て、午後8時半に「解決した」ということになりましたが、「解決した」ということについての保護者への連絡を校長先生方をお願いし、保護者すべてに周知をしてもらうという、非常に時間がかかった対応となりました。保護者への周知方法や、駐車場の問題等が非常に大きな問題だったと思っています。以上です。</p> <p>はい。その他、ご意見がございましたらお願いします。</p> <p>今、教育長が言われたように、駐車場のことももちろんですし、連絡がそれぞれの学校の対応によってとか、PTAの対応によってとかで異なることになったのでしょうが、横のつながりを保護者の方々持っているので、うちの学校は早かったとか、うちの学校は遅かったとか、うちの学校は電話なので全く繋がらなかったとか、次のところに電話するけど繋がらなかったとか、今はSNSの時代なので、僕のところに直接連絡が入ってくるのです。また、県立のいわゆる支援学校などでは、ある保護者には連絡が全くなかったという報告が私に入りましたし、ずいぶん遅れて連絡があった、という報告もありました。一斉に連絡をするシステムについては、システムを利用している学校でも、システムは恐らくそれぞれで、同一のシステムを使ってはいないでしょう。例えば小学校であれば、14分の9で導入済み、導入予定なしが1校、導入検討準備・検討が4校となっていますが、学校によってそれぞれのシステムが違くと、またそういった問題がでてきます。しかし、今からシステムを統一するとなると、既にシステムを入れている学校については、システムの入れ替えをしなければならず、大変な作業になってくるかもしれません。しかし、時間がかからず、全保護者に必ず連絡が行くような「一斉に連絡できるシステム」を各学校が利用できるように、教育委員会がそれぞれの学校と連絡をとりあってしっかりとやっていく責任はあると思います。どうでしょうか。福島委員。はい。</p>

発言者	発言の内容
福島委員	<p>危機管理については、シミュレーションというか訓練がものすごく大事なのですが、今回のような事案があった時に、一生懸命取り組んで、修正をしていって、いい改善をしていくのが一番であると私どもはとらえております。今回は、訓練ではない初めての事態であり、児童に事故が起こることもなく、このような経験ができたことは、よかったのではないかと思います。</p>
市長	<p>今回の事案により、各学校それぞれの対応や管理体制の差が明らかになったので、今後どのように今回の件を活かしてバージョンアップしていくかが大事だと思います。山本委員どうでしょうか。</p>
山本委員	<p>今回の事案については、まだきちんと検証できていないところがあり、また色々と問題が出てくるのではないかと思いますけど、私の病院の職員も何人か呼び出されて、子どもを迎えに行くということで帰りました。ただ、全ての保護者が行けるわけではないと思います。保護者が迎えに来ることができない子どもたちの対応など、こういう事案を通して、今後検討していきたいと思っております。</p>
市長	<p>今、山本委員が言われたような、どうしても親の都合で引き渡しができる場合は、どう対応されたのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>学校の先生が家庭まで送ったケースがありました。また、直接の保護者の方ではなく、祖父母がお迎えに来た家庭もありました。</p>
市長	<p>はい。システムによって、学校からの一方通行ではなくて返信もできるようになっているとか、学校からの連絡が一方向的に届くだけで返信はできないとか、それぞれ違いがあるようです。「出席又は欠席の返信までできるといいなあ」という声を個人的にSNSで送ってくる人たちもいます。返信できる機能が必要なのか、どの程度までの機能が必要なのか、ということも含めて、次の機会までに、どこがどのようなシステムを入れているのかについて、今後検証し、また次の機会に報告・周知していただけるといいのかなと思います。その他、子どもたちの安全対策について、ご意見ある方いらっしゃればお願いします。小野委員さん、どうぞ。</p>

発言者	発言の内容
小野委員	私が一保護者として、とても気になったことは、今回の場合、保護者に直接引き渡すことです。働いていると、どうしても迎へに行けない時もあるので、今回は、全員お迎えは来たのでしょうか。その点が心配でした。
学校教育課長	時間はかかりましたが、確実に保護者に引き渡したと確認がとれております。
小野委員	安心いたしました。
市長	はい。川崎委員よろしいですか。
川崎委員	やはり、今回このような事案が起こったように、最近是不審者が多くなってきています。今までの防災訓練のような形式のものを、不審者対応についても、マニュアルみたいなものを作り、訓練をすることが必要だと思いますので、お願いしたいと思います。
市長	現状として、引き渡しの訓練を実施したことはあるのでしょうか。
スポーツ健康課長	はい。現在学校で行っている地震や火災を想定した通常の避難訓練及び津波・火砕流の対象校における避難訓練の際、避難訓練に合わせて保護者への引き渡しの訓練を行っています。
市長	今川崎議員が言われるように、そういう場合を想定して、実際に避難所運営訓練や防災訓練を実施することによって、わかることがあります。「あんなことやって意味あるのか」と住民から言われることがあります。実際にやってみないと起こり得ないような問題点が細かに出てきますので、訓練をすることによって問題の洗い出しもできると思います。川崎委員のご提案のように、今後不審者対応についてもマニュアルを作り、訓練をできればと思います。  それでは、次に議題の2番、「学校給食施設の整備運営」に移りたいと思いますが、これまでの経緯についてお願いします。
教育長	本日までの経過について説明します。



発言者	発言の内容
スポーツ健康 課 長	<p>別府市には、学校給食の施設として、共同調理場と単独調理場があります。共同調理場は、建設後47年が経過しています。単独調理場は、築40年以上の施設が多く、非常に老朽化が進んでいる状況です。また、耐震性が不足していたり、学校給食衛生管理基準に適応していない状況です。今後10年、20年、30年子どもたちに安全な学校給食を定期的に提供したいということで、今年1月に学校給食施設の整備運営につきまして「あり方検討委員会」を設置し、5月21日付で当検討委員会委員長から意見書を教育委員会にいただきました。この意見書をふまえて、保護者・関係者の皆様に説明会を開催し、多数のご意見やご要望をいただいています。いただいた意見や要望を総合的に判断し、教育委員会において方針を決定したいと考えていますが、今回その方針を決定する際に、長野市長のご意向等も伺いながら、意思の疎通をはかりまして、今後の方向性等について協議を進めていきたいと考えております。</p> <p>まず初めに事務局より経過を説明いたします。</p> <p>議題2の「学校給食施設の整備運営について」説明をいたします。</p> <p>まず、1ページは共同調理場、2ページは単独調理場の現状の写真です。単独調理場については、1番古い境川小学校の写真を掲載しております。</p> <p>続きまして、3ページです。別府市学校給食施設のあり方検討委員会を平成31年1月から令和元年5月まで計6回開催し、児童生徒へ安全で安心な学校給食を安定的に提供するため、別府市の学校給食施設のあり方について検討をしていただきました。検討委員会より「具体的な整備・運営の実施方法について比較検討した結果、検討委員会から学校給食施設の現状を早急に改善するため、安全で安心な給食の提供を最優先に早期に整備計画を具体化し事業に着手することを強く求める。共同調理場方式への一元化がより効率的で実現性が高く、これまで以上に安全で安心な学校給食のシステムに新しく作り変えていくことができる。」との提言を受けました。</p> <p>次に4ページは、検討委員会における定性的評価と定量的評価です。単独調理場方式では、配食までの時間が短く、食育等において優位ではあるが、ドライシステム化等に伴う施設拡張は学校敷地に余裕がなく、運動場が狭くなるなど学校教育活動に与える</p>

発言者	発言の内容
	<p>影響が大きいというえ、多額な財政負担等から整備時期が長期にわたり著しい格差を生じるため、現実的に困難であるとされています。共同調理場方式では、施設整備費や維持管理費のコスト削減が図られ、学校間の公平性や次世代に強いる財政負担も考慮すると、本市における学校給食施設の整備は「共同調理場方式」に一元化することがより効率的で実現性が高いとされています。なお、施設整備費につきましては、一定の仮条件による概算額であり、施設整備条件、敷地条件、業務内容等によって変動することが考えられます。</p> <p>次に5ページです。令和元年6月25日に開催された定例教育委員会において、検討委員会の意見書を踏まえ協議した結果、安全で安心な給食を提供することを最優先に、(1)方針決定にあたっては、意見書を尊重するとともに、方針決定前に保護者や関係者等に説明会を開催し、十分な意見等の聴取に努めるものとする。(2)学校給食施設の整備運営の方向性について、市長と教育委員会が総合教育会議を開催し、意思の疎通を図り、課題と目指す姿を共有する。(3)学校給食施設の整備運営について、具体的な計画を早急に策定することは教育委員会の責務であり、子どもの最善の利益を念頭に、年内の早い時期に教育委員会の方針を決定する。との学校給食施設に係る教育委員会の基本的な考えをまとめました。</p> <p>次に6ページです。7月の亀川小学校をはじめ4回の保護者説明会を実施し、計81名の参加者がありました。保護者等の意見として、子どもたちにとっても、細やかな対応ができる単独調理場の維持を強く望む。また、新築になると小学校などは空きスペースがなく、大変厳しいので共同調理場一元化はやむを得ないといった意見や、食育やアレルギー対応の充実、保温や配送の工夫等を望む。や、おいしい学校給食を実現するために、今後も保護者等の意見を広く取り入れてほしい。といった要望が出されました。</p> <p>最後に7ページです。別府市学校給食施設の実施方式の検討にあたっては、中学校の共同調理場は現調理場の建て替えではなく、新耐震基準および学校給食衛生管理基準に適合した共同調理場を新築することを検討する。また、小学校の単独調理場は、13校にある単独調理場を学校内に敷地確保が難しく、多額の財政負担等から整備期間が長期にわたり、学校間での格差が生じ、現実的に困難であるため、中学校の共同調理場の新築に合わせ、13校の単独調理場の給食を共同調理場方式へ一元化することを</p>

発言者	発言の内容
市長	<p>検討する。とし、新築する共同調理場につきましては、建設用地は現在の共同調理場以上の面積が必要となるため、未利用等の市有地の中から候補地を選定する。整備・管理運営方法につきましては、安全で安心な給食を安定的に提供できるように基本計画の策定段階等において検討する。と致したところでございます。以上で説明を終わります。</p> <p>はい。質疑意見が皆様からありましたらお願いしたいと思います。この件については、重要なこととございますので、ぜひ皆さま方全員からご意見をいただければと思います。福島委員いかがでしょうか。</p>
福島委員	<p>別府市学校給食施設のあり方検討委員会が出た内容を読ませていただきました。その中で、ドライシステムとかHACCP（ハサップ）という言葉がでてきます。HACCP（ハサップ）は、2020年に施行されます。HACCP（ハサップ）に則さない給食センターは作ってはいけない、その場で給食してはいけないという法律ですから、共同給食センターを作るならば、HACCP（ハサップ）に則ったものを造り、そして、給食が充実するのが一番かと思います。</p>
市長	<p>はい。ありがとうございました。山本委員お願いします。</p>
山本委員	<p>私も教育委員会の中で共同調理場について色々検討、考えましたけれども、まずやはり、大前提として、安心・安全が1番大切なポイントであると思っております。</p> <p>具体的には、第一にアレルギー問題です。アレルギー対策は、対象となる方はそんなに多くないと思います。また、レベルも様々だと思えます。お魚にアレルギーがあるなどのレベルのものもありますが、1番慎重に考えないといけないのは、命にかかわるアレルギーです。そばや小麦などに特別なアレルギーのある人は、それを摂取することによってアナフィラキシーショックをおこして致命的になります。学校としては、そのような事態になることは、絶対に防がないといけないと思います。幸い今まで別府市ではそういう事案は発生していないと聞いておりますが、アレルギー対策については、共同調理場の場合は別フロアに特別の担当者を配置し、アレルギー対策食を作るという、徹底したアレルギー対策をとることができますので、やはり安全・安心を考える</p>

発言者	発言の内容
	<p>時に、そこが第一に挙がってくると思っています。</p> <p>第二点は、食中毒の問題だと思います。食中毒は、一度発生すると広範囲にわたって色々な被害が出ます。単独調理場であればその学校だけで済みますが、共同調理場では複数校で被害が出るのが予想されます。その点を踏まえて、この意見書の中で食中毒の対策についても挙げております。複数献立にするなど、先ほど福島委員が言われたHACCP（ハサップ）にきちんと則って食中毒を最大限に防いでいくのがもちろんですが、それでも起こってしまうことはあります。そこで、食中毒が発生しても安定した給食が出せるように、代替手段、例えばどこかと協定を結ぶ等の安定的な給食が実施できるような手段の検討が必要と考えました。</p> <p>それから、第三点目です。多くの方からの意見を聴取した際、「食育」という言葉が多く出てきました。小学校については単独調理場は13校にありますが、やはり、小学校及び小学校に付属する幼稚園の保護者の方々は食育に関する関心が非常に強いと感じています。近くに調理場があるおかげで、ちょっとしたことですけど、漂ってくる匂いや調理場で働いている人たちとのふれあいなどが、保護者の安心感に繋がっているのではないかと思います。学校から離れた共同調理場となると、危機感を持ったり、不安に思う保護者も多いと思いますが、意見書の中にもあるとおりソフト面でカバー、例えば共同調理場の職員、栄養職員が、共同調理場だけにいるんじゃないで、必ず配膳するわけですから、各学校に出向いていくことによる顔の見える関係の継続など、具体的な対策を充実させて、別府市独自の方式を構築していくことが必要であると思います。そうすることによって「良い共同調理場」ができていくのではないかと思います。</p>
市長	<p>はい。ありがとうございます。それでは川崎委員お願いします。</p>
川崎委員	<p>今回の給食調理場の件については、ハード面とソフト面という形で考えた方がわかりやすいのかなと思います。ハード面では、検討委員会でもありましたように、初期投資の面では、共同のほうが圧倒的に優位であるし、財政負担の軽減にもつながります。</p> <p>また、先ほど福島委員からもありましたように、HACCP（ハサップ）対応となると、やはり1つの共同調理場にしたいほうが、より効率的に進めることができます。まず、ハード面で共同調理</p>

発言者	発言の内容
	<p>場か単独調理場かの検討をすることが大事であると思います。もう一方で山本委員も言われましたように、ソフト面ですが、食育やアレルギーの問題など、様々な問題が検討委員会のほうで研究され、対策が提案されていると思いますが、ソフト面は、保護者や学校の先生、給食センターの方などのコミュニケーションや連携がきちんと行われていけば、解決できる問題であると思います。ハード面の問題は、コミュニケーションや連携ではなかなか解決できない問題だろうと思いますので、これからしっかりと検討していただいて、クリアすることによって、最終的には共同給食調理場のほうが望ましいという方向に進むのではないかなと感じています。</p>
市長	<p>はい。ありがとうございました。小野委員お願いします。</p>
小野委員	<p>私も先ほど山本委員からもお話がありましたように、保護者からは、学校であれば「今日の給食は何かな〜」など、調理員さんといろいろお話ししたりすることが大切だ、という意見をよく聞きます。ですが、共同調理場になっても、社会見学で共同調理場を利用するとか、共同調理場で試食とか料理をするとか、体験プログラムを実施するとか、いろいろな場面で子どもが食に関する正しい知識と食習慣を身につけることができるような新たな取り組みを行い、食育の拠点としての役割ができるのではないかなと思います。メリット、デメリット両方あると思いますが、一番大事なのは、誰のために、何のために、というのを、子どもたちの最大の利益を念頭に考えることが重要だと思っております。</p>
市長	<p>はい。ありがとうございました。寺岡教育長。</p>
教育長	<p>はい。今、教育委員さんの数々のお話を伺いました。私は、小学校と中学校両方の経験をしております。確かに小学校の単独調理場の給食はおいしいと思います。中学校の給食につきましても調理員が誇りを持ってやっておりますので、どちらがいいということはないと思います。ただ、検討委員会、あるいは、説明会の中でもご意見がありました。教員の立場からは、食育面や子どもたちの心の面から考えると、調理員との心の関わりがある単独調理場のほうが嬉しく感じるという意見もございます。確かに、長年40年以上にわたって、学校調理員達が一生懸命作って、本当に大きな事件もなく過ごせていますが、先日異物混入等がありま</p>

発言者	発言の内容
市長	<p>した。その原因の一つには、調理器具の老朽化がございます。食育やすべての面を考えましても、やはり安心・安全を最優先すべきと思っています。調理器具の老朽化によって調理員にとっては非常に過酷な環境でありましたし、安心・安全を迫及するためには、HACCP（ハサップ）を導入し、あるいは学校給食衛生管理基準などを組み入れて、子どもたちの安心・安全を迫及しないといけないと考えております。今のシステムに代えて新しいシステムを作ることが課題だと思っています。以上です。</p> <p>はい。教育委員会の統一の意見として、小学校・中学校含めての新しい共同調理場の方向であると承りました。私自身も、議会の中で質問もありましたし、保護者の方も非常に関心のある事案であると思います。「市長はどう思っているんだ」と言われることもあります。調理場については、まず教育委員会において、しっかりと子どもたちの将来を見据えた上で結論を出していただいた後に、私はその意見を伺って自分自身の意見を申し上げたいと言ってまいりました。共同調理場は老朽化が進んでおりますので、共同調理場を建て替えることに対しては、誰からも文句はないと思います。問題は、そこに単独調理場の部分も含めるのかということだと思います。私個人の感情から申し上げますと、単独調理場も残してあげたいなと思います。しかし、その感情だけでいくと、教育に対しての財政的な負担を生じてしまうことにもなるため、これから先のことも見据えて検討しなければいけません。今投入することによって、子どもたちに必要なソフト・ハード両面の設備のための費用などに影響が出ることも考えられ、市の社長、地域の経営者としては、これは耐えられる金額ではない、と率直に思います。とするならば、共同調理場を建築するにおいては、徹底的に保護者の皆さん方のご心配の向きをしっかりと受け取って、心配されていることの解決を図った上で、納得していただいて、理解もいただいた上で、この共同調理場に皆さん同じ方向を向いてやっていかなければならないと思っています。</p> <p>ここで一つ問題としては、土地の問題があります。土地の問題は、今の場所で建て替えるとした場合、今以上の広さの敷地が必要です。HACCP（ハサップ）に則った規格に基づいたものでなければなりませんので、ちょっと悩ましいなと思っていますけれども、土地の問題については、教育委員会で何か具体的な提案がありますでしょうか。</p>

発言者	発言の内容
教 育 長	<p>教育委員会としましては、一定規模の土地が必要かと思っています。学校給食の衛生管理基準を適応させた施設になりますから、現在の共同調理場の跡地では狭く、別府市が保有している未利用の土地が有効と思っています。山の手中学校の跡地、浜脇中学校の跡地、温泉プールの跡地などはどうかと教育委員会で相談しております。いずれにしましても、所管は市長部局になりますので、ご検討いただければと思っています。</p>
市 長	<p>今、教育長が言われた候補となる未利用地は、資料「別府市学校給食共同調理場建設候補地選定比較」に記載しています。山の手中学校の跡地、浜脇中学校の跡地、温泉プールの跡地です。教育委員会としては、この3つを候補としていますが、委員さん皆さんの総意ということでよろしいでしょうか。本日この場で決定することはできませんので、今後関係各課としっかり協議をした後、教育委員会の皆さんと再度協議をさせていただければと思っています。お願いできますでしょうか。ありがとうございます。</p>
教 育 長	<p>本日市長のご意向も把握できましたので、明日あります定例教育委員会で再度協議をしまして、決定をしていきたいと思えます。候補地につきましては、また市長部局で検討していただければと思えます。</p>
市 長	<p>承知いたしました。今ご提案いただいた土地について市長部局で協議をさせていただき、その上で定例の教育委員会で正式に決定となります。</p> <p>これから先の保護者や子どもたちのために、ベストな選択であったと言われるような「安心・安全な食を提供できる環境」を一緒に作っていきたくと思っています。どうぞよろしくお願いを申し上げます。</p> <p>それでは、議題の3「その他」、事務局から何かありますか。</p> <p>最後に、今日一日の議題を通しまして、教育委員の皆様から何かございましたらお願いします。</p> <p>ないようでございますので、以上で議事を終了とさせていただきます。ご協力をいただきましてありがとうございます。</p> <p>進行を事務局にお返しします。</p>

発言者	発言の内容
総務課参事	ご協議ありがとうございました。 これをもちまして、令和元年度第1回別府市総合教育会議を終了いたします。本日は御参加いただき、誠にありがとうございました。

以上